



香川の 土地改良

発行所

香川県土地改良事業団体連合会

高松市番町五丁目1番29号

TEL (087) 832-7140

FAX (087) 832-7150

<http://www.midorinet-kagawa.or.jp>



初詣で賑わう川東八幡神社から望む龍満池（高松市香川町）

目次

1. 新年のご挨拶	香川県土地改良事業団体連合会 会長 大山茂樹	2
	全国土地改良事業団体連合会 会長 二階俊博	3
	都道府県土地改良事業団体連合会会長会議 顧問 進藤金日子	4
	都道府県土地改良事業団体連合会会長会議 顧問 宮崎雅夫	5
	四国土地改良調査管理事務所 所長 佐々木一郎	6
	香川用水二期農業水利事業所 所長 平山真大	7
	香川県農政水産部 部長 新池伸司	8
	香川県農政水産部 次長(兼)土地改良課長 井川一郎	9
	香川県農政水産部農村整備課 課長 松平和也	10
2. 本会第2回監事会開催／本会第194回理事会開催		11
3. 農業農村整備関係の令和4年度補正予算及び令和5年度予算の概算決定／ 香川県管理運営体制強化委員会第2回管理専門指導員会		12~13
4. 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」奨励賞を株式会社 山南営農組合が受賞		14
5. 防災重点農業用ため池保全管理技術講習会開催／本会の新規職員紹介		15
6. 会と催し		16



新年のご挨拶

香川県土地改良事業団体連合会

会長 大山茂樹

明けましておめでとうございます。

会員各位をはじめ、農業農村整備事業関係者の皆様におかれましては、卯年のお正月を健やかに迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日頃から本会の運営に対しまして、格別のご支援、ご協力を賜っておりますことに、改めて厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の世界的流行も3年目となり、日本では7月から8月にかけて、新たな変異株であるオミクロン株による感染の第7波が起こり、8月19日には感染者数もこれまでの最多である261,004人/日となりましたが、感染対策を同時に進めることで、以前のおりの日常も戻りつつあり、3年ぶりの開催となった行事も多くありました。しかしながら、まだまだ感染拡大の収束は見えておらず、10月から増加傾向が続いている第8波は、12月に入ってから感染者数が20万人/日を超える日もあり、皆様方には、引き続きワクチン接種等の感染予防対策にご留意いただきますようお願い申し上げます。

さて、昨年7月10日に投開票が行われました参議院議員選挙では、進藤金日子全国水土里ネット会長会議顧問が、参議院比例区で「闘う土地改良」を掲げ選挙に挑み、平成28年に続き2度目の当選を果たしました。そして、こうした中、国の予算については、必要額獲得のため、全国の土地改良関係者及び関係団体等が一丸となって努力を重ねたことが実を結び、令和4年12月23日に閣議決定された令和5年度政府予算案においては、土地改良に関する農業農村整備事業関係予算は4,457億円（対前年度比100.1%）と、厳しい予算折衝の中で前年度を多少ではありますが上回る予算確保を実現することができました。

昨今、農業者の減少や高齢化が進む中、女性をはじめとした多様な人材が、土地改良区が行う事業に参画することが重要となっており、令和2年12月に閣議決定された「第5次男女共同参画基本計画」に初めて土地改良区の女性理事数の具体的な数値目標が掲げられました。更に、令和3年3月に閣議決定された「新たな土地改良長期計画」や、令和3年6月に決定された「女性活躍・男女共同参画の重点方針2021」においても、理事のみならず総代における女性の割合が極めて低い現状を踏まえ、関係者の女性登用に対する理解の促進や意識改革を進め、土地改良区等の女性ネットワーク化などにより、女性活躍に向けた環境づくりを促進する方針が示されました。

こうしたことは、土地改良区等の組織運営の体制強化を図る観点からも重要な取組であり、目標年度である2025年度に向けて、土地改良関係者皆様のご理解とご協力はもとより、行政も一体となって力強く取組を進めていく必要があると考えております。土地改良区の役職員の皆様方にはご苦勞をお掛け致しますが、令和4年度から本格実施しております土地改良区の会計複式簿記化と併せ、土地改良区の体制強化のためにご尽力賜りますようお願いいたします。

本会では、今後とも農業農村の防災・減災対策や農業水利施設の更新・維持管理などの農業生産基盤の整備を図るため、更に皆様方と一緒に闘っていくことが極めて重要であると認識しており、香川県が目指している「農業の持続的な発展と活力あふれる農村づくり」に向け、会員及び関係者の皆様方とともに各種事業の着実な推進に努めてまいり所存でありますので、変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、皆様方のより一層のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



新年に当たって

全国土地改良事業団体連合会

会長 二階 俊博

令和5年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年の御祝詞を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、様々な感染対策を講じた上で、新型コロナウイルスへの対応と社会経済活動の両立を図るウイズコロナの方針が示されました。皆様におかれましては、「新しい生活様式」を日常生活に取り入れ、引き続き、感染拡大防止に十分ご留意いただきますようお願いいたします。

また、昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻の影響もあり、一部の国では穀物の輸出規制が実施されるなど、食料流通の機能不全や食料価格の高騰など食料安全保障をめぐる負の影響が国際社会に生じました。

国内では、農業者の高齢化や減少により、農地や農業用水の管理に支障が生じているほか、燃料価格の上昇に伴う農事用電力料金の急激な高騰が土地改良区の運営を圧迫しています。

このような国内外の情勢にかかわらず、食料安全保障の観点から、日本の食料生産を支える農業生産基盤を維持し、国民の不安を解消していかなければなりません。

岸田内閣は、こうした状況を踏まえて「食料・農業・農村基本法」の見直しに着手しました。この検討の動きを注視しつつ、我々土地改良関係者は、農業・農村の喫緊の課題に積極的に取り組んでいく必要があります。

令和5年度予算につきましては、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案において、4,457億円を確保することができました。この結果、令和4年度の補正予算を含めると6,134億円となります。

また、令和4年度補正予算において燃料価格の上昇に伴う土地改良区の電気代高騰分の7割を支援する仕組みが導入されました。

御尽力をいただいた当局をはじめ関係各位に心から御礼を申し上げます。

他方、第5次男女共同参画基本計画に続き土地改良長期計画においても令和7年度までに土地改良区及び土地改良区連合の女性理事の割合を10%以上とすることが成果目標とされており、我々土地改良団体における喫緊の重要課題となっています。

将来の組織体制の強化・発展のためにも女性参画を進めていかなければなりません。皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

さて、私は本会の会長に就任以来「闘う土地改良」を掲げ、組織一体となって闘ってまいりました。昨年の参議院選挙においては、土地改良の代表として進藤金日子参議院議員が見事に当選を果たされました。

宮崎雅夫参議院議員と共に「車の両輪」となって、全国を駆け回り、皆さんの声を聞き、土地改良予算の確保だけでなく、現場が直面している課題解決の処方箋を国の政策に反映させるよう奮闘しております。皆さんの声が国会に届くよう、二人の活動の支援をお願いいたします。

輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様各々の地域において更に農業・農村が活力を得て、一層発展しますよう御期待申し上げますとともに、様々な不安が払拭され、本年が全国の皆様にとって良き年であり、日々健やかに過ごされますよう御祈念申し上げます、私の新年の御挨拶といたします。



新年のご挨拶

都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問
参議院議員 進 藤 金日子

新年、明けましておめでとうございます。香川県土地改良事業団体連合会の皆様には、旧年中、大変お世話になりました。お陰様で先般の参議院議員選挙で再選を果たすことができました。二期目においても、引き続き現場主義、地域主義に徹して政策実現に努めてまいる覚悟です。本年も何卒宜しくお願い致します。

懸案の土地改良予算については、昨年12月に成立した令和4年度補正予算で1,677億円（TPP等対策：760億円、国土強靱化5か年加速化対策：817億円、食料安全保障対策：100億円）が措置されました。TPP等対策と国土強靱化5か年加速化対策は、昨年度補正予算に比較して減額されていますが現場の実情等を踏まえて所要額を確保したものであり、農業水利施設にかかる電気料金の高騰対策も盛り込まれ、皆様の要望に沿った内容となっています。

また、令和5年度当初予算政府原案は昨年度より4億円増加の4,457億円で補正予算と合わせて6,134億円となり、本年度と同様に地域の要望に応えられる所要の予算が確保できたものと考えています。

さて、昨年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症が続く中、2月のロシアのウクライナへの侵略により、エネルギー価格の上昇、小麦・とうもろこし等穀物価格や飼料価格の上昇、肥料価格の高騰、それに加えて円安の急激な進行による物価の上昇等があり、これらは国民生活に大きな影響を与えています。政府は、補正予算等によりエネルギー価格や電気料金、肥料価格等の高騰対策を講じてきたところですが、これらを含め物価高は本年も続くと思われまします。引き続き、物価動向を注視しながら必要な対策を講じていくことが重要であり、私も皆様の声に耳を傾けながら各種対策の実現に貢献してまいる覚悟です。

昨年7月の再選後、全国各地で講演等を行ってまいりました。そこで感じたのは、経済安全保障と食料安全保障に対する国民の意識の高まりです。昨年後半の急激な円安の進行も踏まえ、各種生産拠点の国内回帰をはじめ国内における強靱なサプライチェーン再構築の緊急性を改めて認識しております。

また、昨年6月13日に私は参議院決算委員会で、私の政治信条である「食料安全保障」について質問し、岸田総理に対し食料安全保障の確立に対する認識と決意を質しました。総理からは「食料の安定供給の確保は国家の国民に対する最も基本的な責務の一つである。骨太の方針の中で、将来にわたる食料の安定供給確保に必要な総合的な対策の構築に着手し、食料安全保障の強化を図る方針を示したところであり、新しい資本主義のビジョンの下、食料安全保障を強化するべく政府一体となって取り組んでいきたい」との答弁を頂きました。

私は、「食料供給力」（国内生産力、輸入力、備蓄）の中で最も弱体化している国内生産体制の強化が喫緊の課題で、まさに「食料自給力」の強化が不可欠であると訴えています。その最も基礎的なものが「農地・水等の農業資源」であり、自給力の強化を図るには、農地と水の持つ機能を高める土地改良が不可欠です。農業生産に必要な労働力や熟練の技術をICTやAIで代替するスマート農業を展開していくためにも、土地改良を中長期的な展望を持って推進していくことが重要です。このため、今後も予算を安定的に確保するとともに、貴重な予算を効率的、効果的に執行し、目に見える成果を出していく必要があります。本年も土地改良推進に対する貴連合会の皆様のご協力をお願い致しますとともに、皆様からのご指導とご鞭撻を心からお願い申し上げます。新年のご挨拶にさせていただきます。



新年のご挨拶

都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問

参議院議員 宮崎 雅夫

輝かしい初春を迎え、香川県土地改良事業団体連合会の会員各位ならびに関係の皆様方へ謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃より地域の重要な資源である水と土を守り、地域農業の発展や農山村の活性化に向け、農業農村整備事業の円滑な推進ならびに土地改良施設等の適切な管理や土地改良区の適正な運営にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに、旧年中は、私の活動に対し多大なるご支援とご指導を賜りましたことに衷心より感謝申し上げます。

さて、私も皆様方から多くのご支援をいただきながら、昨年8月まで農林水産大臣政務官を勤めさせていただき、その間皆様方からお受けした、たくさんのご要望等に対し、それぞれの地域の課題解決等に向け、進藤金日子議員や農水省の職員の皆さん等と共に一所懸命に対応させていただきました。これらご要請の事項を含め、昨年12月に成立した平成4年度第2次補正予算では、農林水産関係で総額8,206億円、このうち、農業農村整備事業関係については、1,677億円（食料安全保障強化対策100億円、総合的なTPP等関連対策760億円、防災・減災、国土強靱化817億円）が措置され、この中には、皆様方から強いご要望があった土地改良施設にかかる電力料金の高騰に対し、増嵩分の7割を支援する新たな制度も含まれています。また、令和5年度当初予算の概算額としては、前年を上回る4,457億円が計上され、総額6,134億円となる見込みとなりましたが、これから行われる国会での議論において、しっかりと確保できるよう努めてまいります。

さらに、昨今の国際情勢や長引くコロナ禍により、農業農村にも多くの影響が及んでいますが、とりわけ、カロリーベースで6割程度を輸入に頼る我が国の食料事情にあつて、その安定供給を図る食料安全保障の確立に向けた取り組みが求められております。国内農産物の生産を支える農地や水利施設等の整備・維持という重要な役割を土地改良が担っており、農業従事者数の減少傾向に対応するスマート農業の取組推進や農業農村関係人口の拡大などを含めて、しっかりと推進していくことが重要です。

私も、卯年の今年は年男を迎えますので、「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を理念に初心に立ち返り、これまでも増して現場主義に徹し、現場や地域の課題をしっかりと伺いして皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保と現場の実情に即した制度の充実に向け、誠心誠意努力してまいりますので、引き続きご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、香川県土地改良事業団体連合会ならびに会員各位、関係機関の益々のご発展と皆様のご健勝を心より祈念申しあげ私の新年の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。



新年のご挨拶

中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所

所長 佐々木 一郎

新年明けましておめでとうございます。

令和5年の新春を迎え謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、日頃から香川県内の農業農村整備事業へのご理解とご協力、また、新型コロナウイルス感染症の拡大が続くなかでの農業・農村振興へのご尽力を賜っていますことに心より感謝申し上げます。

四国土地改良調査管理事務所は、現在、丸亀市飯山町に本所、坂出市及び愛媛県松山市に分室・支所を置き、四国管内における①国営土地改良事業の実施に関する調査計画（地区調査、全体実施設計等）、②国営土地改良事業によって造成された施設の管理に必要な調査・調整（ストックマネジメント、流域治水等）、③農業水利施設等に関する情報管理・分析（水利権更新等）等を行い、管内の国営事業地区に対し将来に渡ってフォローアップを続けていく役割を担っています。

さて、令和4年12月23日に閣議決定されました令和5年農林水産関係予算については、対前年度比99.6%の22,683億円が計上されています。そのうち、農業農村整備事業関係予算は4,457億円、令和4年度補正予算（防災・減災、国土強靱化、TPP対策等）1,677億円と合わせ6,134億円が確保される見込みとなっています。農地集積・集約化、担い手確保・経営継承などの施策とも連携しながら、これらの予算を計画的、効率的に活用することにより、重要なかつ緊急の課題への効果的な対策につながるものと考えられます。

香川県内においては、担い手の経営規模拡大や麦、野菜などの作付けによる土地利用率向上の一方で、多様な品目の生産・消費が可能で、小規模・高齢・家族経営農家が多いという地域特性を踏まえ、地域振興施策をはじめとする他の関連施策と連携して事業を実施することが重要です。また、人口減少・少子高齢社会の中で田園回帰・農村定住促進など次世代の農業・農村創造のためにも、政府が進める男女共同参画社会の農業分野での取組を同時に進めていくことが不可欠と考えられます。

時代とともに農業・農村を取り巻く状況が変化し続けます。当事務所としては、日頃から土地改良区はじめ地元関係者、関係機関の方々と連携して、地区の特徴を踏まえ、現場の課題解決に向けた調査計画等を進めてまいります。そして、前歴事業を通じて築かれてきた農業経営と農村生活を守り、さらに農業農村の次世代への継承に向け新たな事業の実現を目指してまいります。

今後とも引き続き、事業の調査・計画、管理段階からの皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

最後に、会員の皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

中国四国農政局香川用水二期農業水利事業所
所長 平山 真大

新年あけましておめでとうございます。

令和5年の新春を迎え謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

香川県土地改良事業団体連合会の皆様方におかれましては、平素より国営かんがい排水事業「香川用水二期」の事業推進に格段のご支援とご協力を賜り心から感謝申し上げます。また、本事業の実施においては、関係の土地改良区及び水利組合、市町、県・出先機関、(独)水資源機構香川用水管理所の皆様方に大変ご尽力いただいております、厚く感謝申し上げます。

香川用水二期農業水利事業は、①基幹施設の老朽化対策と維持管理費の軽減、②大規模地震に備えた耐震対策を目的に、平成26年度に着手し令和5年度の完了に向けて、現在進捗率も9割を超えました。これまでの順調な事業の進捗も、香川用水事業への皆様のご理解とご協力のお陰であります。

昨年を振り返りましても、地球規模の気候変動による自然災害の頻発化・激甚化、ロシアの軍事侵攻をはじめとする国際的紛争の長期化など、不可抗力的な食料・エネルギー危機が、我が国の「食料の安定供給」「食料安全保障」が脅かしていることが日常生活でも実感されてきました。このような中、政府では「食料・農業・農村基本法」の制定から約20年での改正に向けた検討が開始されました。

特に、農業農村整備事業は、我が国食料の安定供給と自給力向上のためにはなくてはならない事業であることから、令和5年度農林水産予算概算決定では、令和4年度補正予算と合わせ必要な額の農業農村整備事業関係予算が確保される見込みとなっています。そして、香川用水地区に割り当てられる予算を最大限活用し、皆様方と連携しながら着実に事業を進める所存であります。

さて、香川用水二期事業完了まで残すところ1年余りとなりました。事業所では、地区内の幹線水路、水管理施設、揚水機場など主要な整備は令和4年度までの工事で終え、令和5年度は主に、維持管理のための付帯施設整備とともに、事業完了に向けた関係機関との調整・手続きなど業務を着実に進めてまいります。また、事業完了の節目には、良い施設の引き渡しと維持管理に向けた確実な引継ぎは言うまでもなく、香川用水の普及啓発と香川用水事業の伝承の機会でもありと考えています。

昭和の大プロジェクト吉野川総合開発香川用水事業以来、皆様方のご尽力によって、農業用水の安定供給が守られ、現在、地域の農業振興と年間通じて多彩な品目「さぬきブランド」が確立されています。一方、昨年は特に少雨・渇水傾向が続き、長期にわたる取水制限や多くのため池の水位低下など、将来の農業・生活への不安も拡大しました。

香川用水事業は、将来とも農業用水の安定供給のためにはなくてはならない「農業水利システム」として地域の遺産として守っていくため、また、地域農業、「さぬきブランド」の持続可能な成長のため、深刻化する自然災害への対策や効率的・効果的な用水の維持管理など、不安のない安心な農業・生活の実現を目指しています。

本年も、事業所職員一丸となり、令和5年度の二期事業完了を目指して全力を尽くす所存であります。引き続き皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、会員の皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

香川県農政水産部

部長 新池 伸 司

令和5年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃、香川県土地改良事業団体連合会会員の皆様方には、農業農村整備の推進はもとより、県政各般にわたり格別のご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

この度の新型コロナウイルス感染症につきましては、冬季に入り、全国的に感染の増加がみられており、会員の皆様におかれましても「新しい生活様式」の実践や感染防止対策に努めていただきますよう、引き続きご協力をお願いいたします。

また、高病原性鳥インフルエンザの発生について、今季は全国的にも過去最多だった2020年を上回るペースで拡大しており、本県においても2年ぶりに発生したところです。その防疫対策として、貴連合会を運営主体とする「香川ため池保全管理サポートセンター」において、発生農場近傍に位置するため池周辺の消毒について迅速にご対応をいただきまして、厚くお礼申し上げます。

さて、国では、昨年6月に「デジタル田園都市国家構想基本方針」が閣議決定され、スマート農林水産業の推進や中山間地域の活性化等が盛り込まれるとともに、ウクライナ侵攻などを踏まえ食料安全保障の強化が課題となる中、農政の根幹となっている「食料・農業・農村基本法」について、平成11年の制定後約20年間で初めて総合的な検証を行い、見直しに向けた検討を進めていくなど、農林水産業を取り巻く情勢は大きく変化しております。

こうした中、県においては、社会情勢の変化や国の施策を踏まえつつ、令和3年10月に策定した「香川県農業・農村基本計画」に基づき、多様な担い手による地域農業の振興と農村の活性化を促進するため、農地の最適利用のための取組みを積極的に進めるとともに、スマート農業の実装加速化や水田活用の多様化の推進、農業資材等の自給強化など具体的な施策展開を図ってまいります。

その内、農業農村整備については、大雨や地震などの自然災害に備えた、ため池の総合的な防災・減災対策をはじめ、担い手のニーズや地域の特性を活かしたほ場整備や農業用水のパイプライン化、老朽化した農業水利施設の適時的確な補強・補修による長寿命化対策など、農業を支える生産基盤の整備に取り組むこととしております。特にため池については、「香川ため池保全管理サポートセンター」による劣化状況評価を踏まえ、令和5年度を初年度とする「老朽ため池整備促進計画（第12次5か年計画）」を策定し、危険なため池の計画的かつ集中的な整備を行ってまいります。また、農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮に向け、多面的支払制度や流域治水の取組みなどについても力強く推進してまいります。

これらの事業を円滑に推進するためには、貴連合会の皆様方の一層のご支援、ご協力がますます重要になりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

結びに、貴連合会の益々のご発展と、会員皆様方にとりまして、本年が希望に満ちた明るい年となりますよう心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

香川県農政水産部次長(兼)
土地改良課長
井川 一郎

令和5年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃、大山会長をはじめ会員の皆様方には、農業農村整備事業の推進はもとより、県政各般にわたり格別のご協力とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、国においてはウクライナ侵攻等を踏まえ、食料安全保障の強化や農林水産業の持続可能な成長を推進するため、スマート農林水産業の実装の加速化や、穀物などの自給強化、土地改良事業による農地の大区画化や汎用化・畑地化を進めるとともに、豪雨・地震などの災害リスクに対応するため、防災・減災、国土強靱化対策として、各種インフラのハード・ソフト一体なった取組みを強力に推進するとされております。

こうした中、県では国のため池2法の施行に伴う取組みを進めており、貴連合会を運営主体とする「香川ため池保全管理サポートセンター」により実施している「防災重点農業用ため池」の劣化状況評価については、老朽度が高く「防災工事が必要なため池」を377箇所と判定したところであり、今後、来年度を初年度とする「老朽ため池整備促進第12次5か年計画」に反映させて、危険なため池から計画的かつ集中的に整備してまいりたいと考えております。

また、それらハード整備を補完するため、ため池ハザードマップ等の整備を促してきたところですが、今年度からはICTを活用したため池の管理省力化や豪雨・地震時の防災・減災対策の強化を図るため、ため池の監視カメラや水位計の設置をため池管理者と連携しながら導入してまいりたいと考えております。

一方、基盤整備については、経営規模の零細性やため池を中心とする水利慣行などから、ほ場整備率は全国に比べて遅れている状況にあります。国において農業者の費用負担や同意を求めない「中間管理機構関連農地整備事業」が創設されるとともに、事業制度の充実等により、長年、農業情勢の悪化等に伴い低迷していた本県の農業生産基盤の整備も地元要望が増加している状況となっております。

今後は、土地改良区が中心となり管理してきたため池をはじめとする農業用施設を将来に亘り保全管理していくことが重要となっておりますが、近年、農業者の高齢化や減少、混住化等に伴い、受益地が喪失した施設も増加しており、将来的にこれらの施設を適切に維持管理していくことが困難になることが懸念されております。県としても各地域の実情を踏まえて、引き続き支援をしてまいりますので、皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、貴連合会の益々のご発展と会員皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

香川県農政水産部農村整備課

課長 松 平 和 也

新年明けましておめでとうございます。

令和5年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

大山会長をはじめ、香川県土地改良事業団体連合会会員の皆様方には、日頃より本県の農業農村整備事業の推進はもとより県政各般にわたり格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

ご承知のとおり、農業・農村は、必要不可欠な食料を供給するとともに、洪水の防止や水源のかん養、自然環境の保全、美しく安らぎを与える景観の形成などの多面的機能を有しています。しかし、農業者の高齢化や減少に伴う労働力不足や集落機能の低下、農産物価格の低迷、激甚化する自然災害などの課題に直面しており、これらに適切に対応することが求められております。

こうした中、国においては、令和3年に「土地改良長期計画」を閣議決定し、持続的に発展する農業と多様な人が住み続けられる農村の実現に向けて、生産基盤整備の強化による農業を成長産業化する「産業政策」と農村の振興を促進する「地域政策」に加えて、両政策を支える農業・農村の強靱化も図るよう各種の施策を講じているところであります。

本県においては、令和3年度に策定した「香川県農業・農村基本計画」に基づき、次世代の農業を支える「担い手の確保・育成」、儲かる農業の土台となる「生産性を高める基盤整備」をはじめ、農村を維持し、次世代に継承していくための「活力あふれる農村の振興」などを推進しているところであります。

農村整備課では、本年も引き続き、貴連合会や市町との連携のもと「多面的機能支払制度」を活用した農地、水路、ため池などの保全管理や周辺景観を保全する協働活動を促進し、多面的機能の維持・発揮に努めてまいります。

あわせて、畦畔法面の草刈りや水管理などの管理労力の省力化を図るため、カバープランツ(ムカデ芝)などの防草対策や多機能型自動給水栓の導入等についても推進してまいります。

一方、中山間地域においては、「中山間地域総合整備事業」による地域条件や地域のニーズに即したきめ細やかな生産基盤の整備と定住条件の改善や都市交流の場として必要な施設の整備、「中山間地域等直接支払制度」を活用した地域の農業生産活動の支援、「棚田地域」のPRや地域外との交流による棚田の保全や棚田を核とした地域振興など、総合的な対策を進めてまいります。

さらに、農村の所得向上と地域の活性化に向けて、農村地域の豊かな自然や農産物を生かした「農泊、グリーン・ツーリズム」の実践者を支援するとともに、ソーシャルメディア等を活用した本県農業・農村の魅力やイベントなどの情報を発信し、都市との交流を促進し農村と多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大に取り組んでまいります。

今後とも「農業の持続的な発展と活力ある農村づくり」を目指して、関係職員が一丸となって取り組んでまいりますので、会員の皆様のご支援、ご協力よろしくをお願いいたします。

結びに、貴連合会の益々のご発展と会員皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

第2回監事会開催

12月16日、香川県土地改良事業団体連合会会議室において、令和4年度本会第2回監事会を開催した。

監事会は、監事2名出席のほか本会会長、常務理事の立会いのもとに中間監査が行われた。

監査の結果、本会の予算執行状況並びに財務状況についていずれも適正に処理されているとの報告があり、全議案が承認された。



監事会の様子

議案

- (1) 令和4年度中間監査実施計画について
- (2) 令和4年度予算執行状況及び財務状況報告について
- (3) 令和4年度一般会計、特別会計収支補正予算について

第194回理事会開催

12月21日、香川用水記念会館1階多目的室において、本会第194回理事会を開催した。

冒頭、大山会長から、10月の農業農村整備の集い及び予算要望活動等の実施や11月の全国土地改良大会沖縄大会での森川代表監事の農林水産省農村振興局長表彰受賞、香川ため池保全管理サポートセンターの活動内容について報告があった。また、初めての複式簿記会計決算となる令和4年度の決算書類については、チェック体制の確立が必要であり、さらに施設の適切な管理のため、実態に合った更新が必要な「維持管理計画書」の整備を支援するとともに、受益地の減少などにより施設の管理が困難となっている土地改良区もあり、地域ぐるみでの施設管理に向けた関係市町との協議のための指導・助言を行っていく所存であるので、ご支援・ご協力をお願いしたい旨の挨拶があった。

その後、新池伸司香川県農政水産部長からの来賓挨拶に引き続き、大山会長が議長となり、下記の2議案が審議され、いずれも原案どおり承認され閉会した。

議案

- (1) 香川県土地改良事業団体連合会職員給与規程一部改正の専決処分の承認について
- (2) 令和4年度一般会計・特別会計収支補正予算について



本会 大山会長による挨拶



香川県農政水産部 新池部長より挨拶

農業農村整備関係の令和4年度補正予算及び令和5年度予算の概算決定

12月23日、令和5年度政府予算案が閣議決定された。農林水産省の予算総額は対前年度比99.6%の22,683億円、このうち、農業農村整備関係予算の概算決定額は対前年度比100.1%の4,457億円となった。これに、令和4年度補正予算を加えると6,134億円（対前年度比137.8%）となる。

総括表

区分	4年度予算額	5年度概算決定額	4年度補正追加額
	億円	億円	億円
農林水産予算額 (対前年度比)	22,777 —	22,683 99.6%	8,206
1. 公共事業費 (対前年度比)	6,980 —	6,983 100.0%	3,191
一般公共事業費 (対前年度比)	6,780 —	6,782 100.0%	2,670
災害復旧等事業費 (対前年度比)	200 —	201 100.6%	521
2. 非公共事業費 (対前年度比)	15,797 —	15,700 99.4%	5,016

- (注) 1 金額は関係ベース。
 2 計数整理の結果、異動を生じることがある。
 3 計数は、四捨五入のため、端数においては合計とは一致しないものがある。

農業農村整備事業関係予算の概要

事項	令和4年度 当初予算額	令和5年度 概算決定額 A	令4年度 補正予算額 B	合計 A+B
	億円	億円	億円	億円
農業農村整備事業(公共) (対前年度比)	3,321 —	3,323 100.1%	1,677	5,000 150.5%
農業農村整備関連事業(非公共) (対前年度比)	540 —	543 100.6%	—	543 100.6%
[農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 畑作等促進整備事業 農山漁村振興交付金]				
農山漁村地域整備交付金(公共) (農業農村整備分) (対前年度比)	591 —	591 100.0%	—	591 100.0%
計 (対前年度比)	4,453 —	4,457 100.1%	1,677	6,134 137.8%

- (注) 1 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しない場合がある。

令和5年度概算決定の概要

農業農村整備事業の令和5年度概算決定については、農業の競争力強化のための水田の畑地化・汎用化や農地の大区画化、新たな農業水利システムの構築、農村地域の国土強靱化を図るための農業水利施設の適切な更新・長寿命化、省エネ化・再エネ利用、ため池の防災・減災対策や農業用ダムの洪水調節機能強化、集落排水や農道等の生活インフラの整備等を推進するため、3,323億円を概算決定するとともに農山漁村地域整備交付金の農業農村整備分及び非公共事業である農地耕作条件改善事業等と合わせ対前年比100.1%の4,457億円を概算決定。なお、これらに令和4年度補正予算1,677億円を加えると、対前年度比137.8%の6,134億円となる。

令和5年度概算決定 主要事業

○農業農村整備事業

農地の大区画化や畑地化・汎用化、農業水利施設の適切な更新・長寿命化、省エネ化・再エネ利用、ため池の防災・減災対策、農業用ダムの洪水調節機能強化や田んぼダムの取組拡大、農道、集落排水施設の整備等を推進する。

農村地域のインフラの持続性の確保と農村の活性化を図るため、集落排水施設や農道の再編、強靱化、高度化等の定住条件の整備を支援する。

○農地耕作条件改善事業

農地中間管理機構による農地の集積・集約化、麦・大豆や高収益作物への転換を推進するため、機構による担い手への農地の集積・集約化が行われる地域等において、農地の区画拡大や排水改良等を支援する。

○農業水路等長寿命化・防災減災事業

農業生産活動の基盤となる農業水利施設の機能を安定的に発揮させるため、機動的・効率的な長寿命化・防災減災対策を支援する。

○農山漁村地域整備交付金

地方の裁量によって実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災・減災対策に必要な交付金を交付する。

香川県管理運営体制強化委員会第2回管理専門指導員会

12月20日、香川県土地改良事業団体連合会会議室において、香川県管理運営体制強化委員会第2回管理専門指導員会を開催した。各土地改良事務所長をはじめ、専門指導員の出席のもと、令和5年度新規加入整備補修事業実施計画及び令和6年度新規加入防災減災機能等強化事業実施計画について協議を行った。

令和5年度の新規加入施設(47期生)は、揚水機1ヶ所、排水機1ヶ所、樋門2ヶ所、

頭首工2ヶ所、ため池3ヶ所、水路1ヶ所の計10ヶ所であり、実施予定年度については管理指導事業による診断結果等において必要と認められた整備補修の緊急度の高い順に決定した。

今後、4年度内に県、全土連、国と協議し、令和5年度から5年間で事業を実施していく。



管理専門指導員会の様子

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」奨励賞を
株式会社 山南営農組合が受賞

農林水産省及び内閣官房は、11月7日に農山漁村活性化の優良事例である「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」の第9回選定として37地区を選定した。選定は、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向けて、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例を全国に発信するために行っており、今回、三木町の株式会社 山南営農組合は奨励賞を受賞した。授与式は12月19日に岸田文雄内閣総理大臣の出席のもと、総理官邸において開催され、阿部泰人代表取締役役に表彰状が手渡された。

山南営農組合のある小蓑集落は、山の中の限界集落であり、年々人口は減少し、このまま何の取組もしなければ廃村になることは明らかな状況であった。この状況を打開するために、営農組合を設立し、集落を挙げて地域を活性化することに取り組んだ。

営農組合ではエコファーマーを取得して「小蓑米」を栽培しブランド化を図るとともに、組合に11の部会を作り、組合員全員が何れかの部会に所属することとしており、農業機械の操作が得意な人はオペレータ部会、家事経験の長い主婦の方は農村レストラン部会というように、各々が得意分野を活かせる部会に属し、個人が地域で必要な存在であるという「生きがい」を感じられる組織づくりをしている。

また、地域外からの訪問客を増やすため、農村レストランに加え、農家民宿を2棟開業したほか、地域内外の幅広い世代を対象にグリーン・ツーリズムや農業体験を実施するとともに地元の三木高校生と連携し、HPの開設や地域の案内板を設置したり、農産物加工場を活用し、香川大学学生による農村カフェを開業するなど、学生や地域おこし協力隊等と連携した取り組みも行っている。今回の受賞は、これらの取組が高く評価されたものである。



表彰状



農村レストラン



農産物加工品



防災重点農業用ため池保全管理技術講習会開催

12月2日から13日にかけて、香川県ため池保全管理協議会及び香川ため池保全管理サポートセンター主催による「防災重点農業用ため池保全管理技術講習会」を県下のため池3箇所（現地）を会場に開催した。

この講習会は、ため池の定期点検や緊急連絡体制、緊急時や劣化の補修、緊急点検等の「演習・訓練」を現地で行うことにより、管理者の保全管理技術や防災意識の向上を図ることを目的に開催したものである。会場には、ため池管理者約50名が参加し、主催者の説明のほか施設機械メーカーの方からも施設の点検補修等について専門的な説明が行われ、参加者はこれらの説明に熱心に耳を傾けていた。講習会後には質問や相談も多くあり、大変意義のある講習会となった。



講習会の状況

本会の新規職員紹介

事業課 技師 元山 賢太

昨年、11月1日より香川県土地改良事業団体連合会の職員となりました、元山賢太と申します。高校、大学と農業土木を学び、香川で働く際には学んだ知識を生かせる仕事に就きたいと考えていました。今回、ご縁があり連合会の一員に加わることができ、心から嬉しく思うと同時に日々の業務にワクワクしながら取り組んでいます。

学生時代は野球をしており、大学時代はキャプテンをしていました。一番心に残っている場面は人生で初めてホームランを打った時に、チームメイトがベンチから飛び出して僕以上に喜んでくれた瞬間です。本当に幸せな野球人生でした。

今まで培った経験や知識を活かしながら、今後は香川の農業・農村整備事業に貢献していきます。まだまだ、不慣れなことばかりですがこれからもご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

趣味等

半年前にゴルフを始めました。いいスコアが出ると楽しくて夢中になっています。まだまだ初心者ですが、みなさんからの誘いを待っています！！



会 と 催 し

開催月日	会 の 名 称	開催場所
12月16日	本会令和4年度第2回監事会	高松市
12月16日	第95回香川用水記念会館管理委員会幹事会	高松市
12月19日	観音寺市土地改良連絡会	観音寺市
12月20日	香川県農業再生協議会第34回総会	高松市
12月20日	香川県管理運営体制強化委員会第2回管理専門指導員会	高松市
12月21日	本会第194回理事会	高松市
1月6日	都道府県水土里ネット等事務責任者会議 (Web)	高松市



みどり
水土里ネット香川 香川県土地改良事業団体連合会

URL : <http://www.midorinet-kagawa.or.jp>

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

令和五年 元旦

水土里ネット香川
(香川県土地改良事業団体連合会)

会 長 大山茂樹 さぬき市長

副会長 組橋啓輔 全県

副会長 三笠輝彦 香川県内場池土地改良区理事長

常務理事 野瀬康弘 学識経験者

理事 栗田隆義 まんのう町長

理事 山本貞二 内海町安田三五郎池土地改良区理事長

理事 齋藤勝範 香川県三豊市三野町土地改良区理事長

理事 國重進 満濃池土地改良区理事長

理事 前川昌也 坂出市江尻土地改良区理事長

理事 田中孝博 白鳥土地改良区理事長

理事 宮本欣貞 四箇池土地改良区理事長

理事 石井和義 綾歌郡永富池土地改良区理事長

理事 山田勉則 香川県三郎池土地改良区理事長

代表監事 森川光典 観音寺市高室土地改良区理事長

監事 上原勉 香川町浅野土地改良区理事長

外職員一同